

Good Life,
Good Tomorrow



CSR REPORT
2022

目次

会社概要	1
アクシアル ポリシー/営業概要	3
トップメッセージ	4
アクシアル リテイリングのあゆみ	5
お買い物と食卓をもっと楽しく	7
グループビジョン	9
Axial × SDGs	10
食で笑顔に	11
食で支援を	12
健康維持のために	14
未来を変える人を育む	16
仕事と家庭のバランスを	17
現場改善のしくみ、地方産品を広める	19
よりお買い物しやすいお店に	20
お買物をより便利に楽しく	21
ダイバーシティの推進	23
エネルギーを効率的に、クリーンに	25
気温上昇を抑える	26
食品ロスを減らす	27
ムダなプラスチックを減らす	28
豊かな森林資源を未来へ	29
環境会計	30
事業活動と環境影響	31
信頼の構築と平和な社会	33
みんなでゴールを目指そう	34

会社概要

社名	アクシアル リテイリング株式会社
本部所在地	新潟県長岡市中興野18番地2
設立	1967年8月
資本金	31億5,971万円
事業内容	スーパーマーケット事業を中心とした 企業集団の持株会社
HPアドレス	https://www.axial-r.com/
グループ企業	株式会社原信 株式会社ナルス 株式会社フレッセイ 原信ナルスオペレーションサービス株式会社 アクシアル レーベル株式会社 株式会社ローリー 株式会社原興産 株式会社アイテック 高速印刷株式会社 力丸流通サービス株式会社 株式会社フレッセイヒューマンズネット 高翔商事株式会社

編集方針

アクシアル リテイリングは、より多くの皆様から当社をご理解いただくため「CSRレポート」を毎年発行しています。本レポートは、主にSM(スーパーマーケット)事業を中心としたグループ各社の主な活動結果及び進捗を報告しています。今年度はSDGs※のゴールごとに目指す姿とその取り組み進捗を掲載しました。

※SDGsとは、2015年に国連および日本政府が採択した先進国を含む国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴールです。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



Axial
RETAILING



129

店舗

※2022年3月末現在

アクシアル ポリシー

アクシアル リテイリング グループ経営理念

我々は毎日の生活に必要な品を廉価で販売し、より豊かな文化生活の実現に寄与することを目的とする。

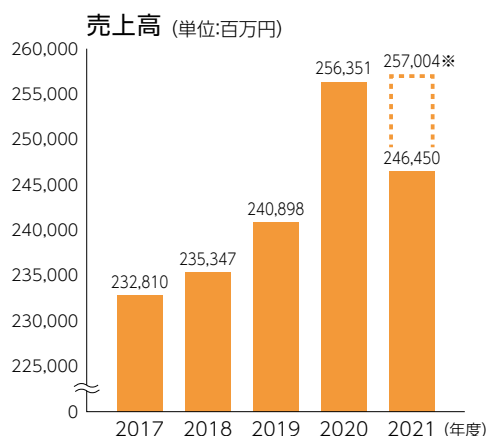
経営原則

1. 高潔な企業風土をめざします。
2. TQMを経営の根幹にします。
3. 基本を徹底します。
4. マスマリットを追求します。
5. 持続可能な社会の実現に貢献します。

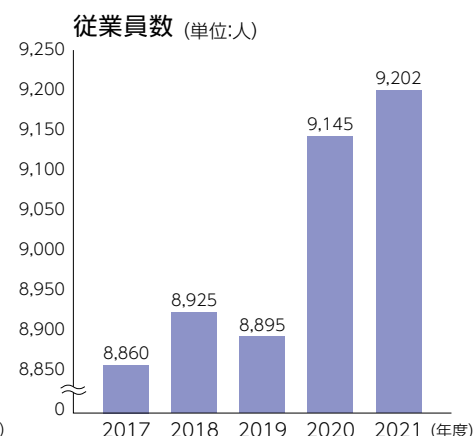
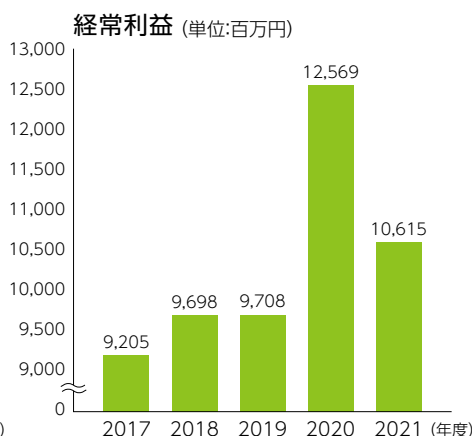
行動指針

1. 「判断の基準はお客様」です。
2. 安全を最優先します。
3. 全体最適で発想します。
4. 自己育成に努めます。
5. 人間性を尊重します。
6. チームワークを大切にします。
7. コミュニケーションを円滑にします。

営業概要



※当期の期首より新しく収益認識会計基準が適用されており、実質的な売上高は257,004百万円となります。



※パートナー社員は月200時間換算による期中平均人員

グループ一体経営で地域を支える スーパーマーケットに

アクシアル リテイリング株式会社
代表取締役社長

原 和彦



この度、弊社第22版となる「CSRレポート2022」を発行いたしました。皆様からのご理解、ご支援をひきつづき賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2022年、新型コロナウイルス感染症の終息はいまだ見えておらず、外出を控える暮らしが続く中、日々多くのお客様より各店舗をご利用いただいています。当社では、「広げよう支援の輪 がんばろう!日本。」の取り組みを継続し、産地・市場・卸事業者等の販路拡大を支援する活動を行っています。さらなる支援として、花火行事がなくなり収入が大幅に減少している花火師様を支援するため、原信、ナルスで販売するプライベートブランド商品1個につき1円を一般財団法人長岡花火財団他へ寄付する企画「花火師さんへ贈るまごころの1円プログラム」を実施いたしました。

こうしたコロナ禍の中、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、国際情勢は不安定な状態が続いています。当社では、難民となった方々に対し、お客様からお預かりした善意の募金とともに、当社の気持ちを添えて国連機関へ寄付をいたしました。一日も早い平和的な解決が迎えられることを祈念しています。

さて、アクシアル リテイリングでは、グループ

全体の行動規範となる「アクシアルポリシー」を制定いたしました。これは、グループの経営理念に加えて、経営原則と行動指針を明らかにし、組織活動の土台を簡潔にまとめたものです。グループビジョンの実現に向けて、アクシアルポリシーを土台とし、品質経営、環境経営、健康経営、技術革新への対応、人づくりの基本政策を掲げ、グループ一体となって取り組みます。

また、株式会社格付投資情報センター(R&I)様による当社の格付が「A-」から「A」に向上しました。収益性(ROA)と安定性(自己資本比率)、さらにはTQMを経営の根幹に据え、改善に取り組む体質が評価につながりました。これからも地域の皆様の暮らしを支えるスーパーマーケットとして、成長を続けるとともに、持続可能な社会の実現に向けて、社会課題の解決に取り組んでまいります。

昨年は、新潟県南魚沼市に原信川窪店、群馬県藤岡市にフレッセイフィール藤岡店、群馬県太田市にフレッセイ太田飯塚店をオープンしました。今後も地域のライフラインとしての役割を果たすとともに、急速に変化する時代の中で、組織力をより一層高め、新たな変革に挑戦し、お客様から支持される企業を目指してまいります。

アクシアル リテイリングのあゆみ

年 1950 1958 1959 1967 1974 1976 1979 1980 1982 1983 1984 1986 1988 1990 1991 1992 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2003 2004 2005

原信

創業
1907年(明治40年)

原信吾が原蠟燭(ろうそく)店を長岡市で開業。西洋ろうそくを扱う。家の明かりを灯するろうそくを一品一品ていねいに、大切につくりあげる。戦後はせとものを取り扱い、バラエティストアへと転身。いつの時代もお客様の生活に必要なものに対応し、変化し続けてきた。



原信東坂之上店開店(1967年)



SSM1号店の原信吉田店(1991年)



原信 ロゴマーク (1997年～)

株式会社原信を設立(スーパーマーケット創業)

CGCグループ加盟

TQC導入

新潟証券取引所に上場

「原信サマースカラシップ」スタート
TQCを軸としたH.T.S活動開始
原信・福屋・こたやの3社合併、新生原信誕生

中之島物流センター開設
長期ビジョン「2010VISION」策定
新ロゴマークの採用

レジでの袋詰めサービス開始

環境マネジメントシステムISO14001認証取得
東京証券取引所2部に株式上場

はらしんカード(クレジットカード)取り扱いスタート

中越地震発生(44店舗中22店舗被災、3店舗閉鎖)
7.13水害(2店舗浸水)

ナルス

創業
1948年(昭和23年)

成澤芳雄がこんにゃく・豆腐製造の成沢商店を直江津市で開業。「為せば成る」の心をもとに、「主婦の店」、その後「主婦の店ナルス」としてスーパーマーケットを運営。

主婦の店直江津店を開店(スーパーマーケット創業)

郊外型ショッピングセンター出店
配送センター開設
商号を株式会社ナルスに変更

移動販売車(ハロー号)運行開始
生鮮食品加工センター新設

新ロゴマークの採用



ナルス ロゴマーク (1990年～)

新たな標準型店出店
オール日本スーパーマーケット協会に加盟

ナルスカード導入

フレッセイ

創業
1850年(嘉永3年)

植木文左衛門が海のない地域の方々においしい魚を提供したいという想いから、鮮魚塩干物の卸小売業「松葉屋」として創業。

株式会社松清本店を設立

スーパーマーケット創業

CGCグループ加盟



松清本店 セルフサービスの店創業当時を描いた絵



ア・リトル・ステップキャンペーン

ア・リトル・ステップキャンペーン(慈善活動)で車2台を寄贈



フレッセイ ロゴマーク (1992年～)

新本部センター拡充(PC・ITC拡充)
商号を株式会社フレッセイに変更

FIC活動(フレッセイ改善活動)キックオフ

第1期FIC成果発表会開催

フレッセイポイントカード全店導入

フレッセイカスタマーカード導入

アップグレード型業態出店

障害者雇用優良企業厚生労働大臣賞受賞

2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

原信ナルスホールディングス

「ナルス」TQM活動スタート
HTSをTQMに名称変更
株式会社ナルスと経営統合し、原信ナルスホールディングス株式会社を設立

中越沖地震発生(7店舗被災)
第1回原信ナルス会開催
東京証券取引所一部に指定替え

上越物流センター開設
「ナルス」ISO14001認証取得(適用範囲の拡大)

長期ビジョン「Advanced Regional Chain」策定

ニューコンセプトⅡ(NCⅡ)スタート
(毎日の生活を豊かに楽しくするよつな提案のできるスーパーマーケットづくり)

新潟県優良リサイクル事業所表彰受賞
原信ネットスーパースタート
東日本大震災発生(PB商品1個につき1円を被災地に寄付する「まごころの1円」プログラム)

「原信」川崎店グロサリー部門「抹茶テラテサークル」がQCサークル石川馨賞を初受賞



原信ナルスホールディングス
ロゴマーク
(2006年～2013年)



原信ナルスホールディングス東証一部上場(2007年)
(左)原信一社長 (右)山崎軍太郎会長

キャリア教育文部科学大臣賞受賞



アップグレード型業態として初出店した「クラシード若宮」店内

株式会社フレッセイホールディングスを設立

移動販売車「フレッシー」便介護施設や団地巡回開始
MITHS活動(QCサークル)スタート

アクシアル リテイリング

東京証券取引所プライム市場に上場
株式会社格付投資情報センターより格付け及び方向性 A(安定的)に格上げ
「原信ナルス」「ファベックス」惣菜・べんとらうグランプリ 2022「第1回企業表彰受賞」「アクシアルポリシー」制定

「原信ナルス」健康経営方針制定・健康経営優良法人に認定
「原信ナルス」第1回新潟SDGsアワード大賞受賞

日本品質奨励賞 TQM奨励賞受賞
グループ新ビジョン「Enjoy! Axial Session」策定

「ナルス」スーパーマーケット創業60周年

「フレッセイ」スーパーマーケット創業60周年
ローリー中之島プロセスセンター開設
代表取締役社長原和彦がQCサークル経営者賞を受賞

「フレッセイ」群馬県食育推進活動優良企業表彰受賞
「原信」スーパーマーケット創業50周年

「フレッセイ」前橋物流センター開設
株式会社格付投資情報センターより格付け及び方向性 A(ポジティブ)に格上げ

「原信ナルス」ニューコンセプトⅡ(NCⅡ)スタート
紺綬褒章受章(関東甲信地区大雪災害における群馬県への義援金寄付により)

「フレッセイ」TQM活動スタート
「原信ナルス」中之島DC開設
3R推進功労者等表彰会長賞受賞

株式会社フレッセイホールディングスと経営統合し、アクシアルリテイリング株式会社を設立



アクシアル リテイリング
ロゴマーク(2013年～)



(左)山崎軍太郎会長 (中)原和彦社長 (右)植木威行副社長



ニューコンセプトⅡの考えを取り入れ、アースカラーを基調とし、落ち着いたイメージの店舗外観(原信美沢店)



前橋物流センター



ローリー中之島プロセスセンター

お買い物と食卓をもっと楽しく



セントラルマーケット

セントラルマーケットは広い売場面積と駐車場と深い商圈をもつことを条件に、①専門性②ライブ感③情報発信のコンセプトで幅広いお客様からご利用いただけるように商品と提案を磨きあげたお店です。現在原信川崎店(長岡市)、原信河渡店(新潟市)、原信小出東店(魚沼市)の3店舗があります。





ニューコンセプトII+ ツープラス

原信とナルスでは、お客様の環境変化に合わせて2010年から「ニューコンセプトII」として①新しい商品展開②あかぬけた売場③生産性の向上のテーマを設けたお店づくりを開始し、2015年からは更なる「豊かさ・楽しさ・便利さ」をご提供する「ニューコンセプトII+」の展開を推進しています。

食生活の多様化に合わせたサラダ提案の充実や、健康ニーズに沿った魚惣菜の提案など、食卓をイメージしやすいように食シーンに合わせた商品づくりと売場づくりに取り組んでいます。



エクスプレスマーケット

人口減少による高齢化や有職率の増加という環境変化にあわせ、即食・簡便ニーズに対応したお手軽にお買い物ができるお店です。現在原信城岡店と原信旭岡店(いずれも長岡市)の2店舗があります。



フレッセイMD2.0

フレッセイでは、①美味しさ②健康生活③簡単・便利④ローカルのテーマを軸とした「フレッセイMD2.0」の展開を進めています。即食商品の強化を図り、店内製造にこだわった自家製とろけるプリン、群馬県の郷土食である焼きまんじゅうなどを販売しています。中でも切り立てローストビーフを使用したローストビーフ丼は、お客様から支持されています。



自家製スイーツ



焼きまんじゅう



ローストビーフ丼

経営理念の実現に向かう具体的な方向性を示すため、グループビジョンを定めています。

アクシアル リテイリング グループビジョン



グループ各社や個々人が自律的に技量を磨き、全体では調和のとれた活動を行うことで、今まで以上のマスメリットを創出し、お客様に新たな価値をご提供します。

①品質経営

TQM活動の推進により、商品・サービスとそれを支える仕組みの「品質」を向上させ、お客様・地域・社会からより信頼される企業を目指します。

②環境経営

事業活動を通じて環境課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

③健康経営

健康的なライフスタイルを実現できる商品・サービスの提供を通じて、お客様の健康づくりをサポートします。

従業員の健康増進と働きやすい職場づくりを推進し、長く安心して働ける環境を実現します。

④技術革新への対応

日々進歩する様々な技術の活用にも果敢に挑戦し、生産性とお客様の利便性を飛躍的に向上させます。

⑤人づくり

自らチャレンジし、変革を起こせるイノベティブな人材を育成します。

人材育成を通じて地域・社会の発展に貢献します。



地域社会のインフラとして、私たちスーパーマーケットが持続可能な社会実現のためにできること

2030年をターゲットとしたグループビジョンの5つの基本政策をもとに、重点課題を分類しました。
アクシアル リテイリングは、これからもSDGsを起点に社会課題の解決に努めていきます。



基本政策	重点課題	対応するSDGs	主な取り組み
品質経営	新たな価値の創造と組織能力の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●おいしいわけ商品 ●アクシアルPB商品 ●セントラルマーケット、エクスプレスマーケット、フレッセイMD2.0の展開
環境経営	サステナブル社会への貢献		<ul style="list-style-type: none"> ●食品廃棄物の発生抑制とリサイクル ●プラスチック製容器包装の削減とリサイクル ●自然エネルギーの活用 ●物流エネルギーの効率化
健康経営	お客様と従業員のヘルシーライフサポート		<ul style="list-style-type: none"> ●健康軸商品 (だし香るシリーズ、魚菜屋^{うおさいや} 365×3 salad life) ●スマートミール認証 ●健康経営方針制定 ●健康経営優良法人の認定
技術革新	デジタル技術の活用		<ul style="list-style-type: none"> ●ネットスーパーの展開 ●原信ナルスアプリ、フレッセイアプリ ●電子決済の導入 ●需要予測型自動発注・AI型自動発注の導入
人づくり	自力で完遂できる人材		<ul style="list-style-type: none"> ●改善事例、成功事例 ●アシスタントチーフ制度 ●各種社内・社外研修 ●有給休暇の取得しやすい環境





私たちは、社会的・経済的な困窮により生活が安定しないご家庭に、食を通じて安定をお届けすることを目指します。

留学生応援プロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大により、日本に滞在する留学生はアルバイト収入が減るなどの影響を受け不安を抱えながら勉学に励んでいます。

少しでも留学生の生活支援に役立てていただこうと、公益財団法人長岡市国際交流協会様が原信からの寄付金を活用し、生活支援品をお送りしました。

留学生からは「温かい気持ちになった。勉学により一層励みたい」という感謝の気持ちが寄せられました。

今後も感染拡大の状況を踏まえながら、適切な支援を実施してまいります。



留学生への記念品贈呈

フードバンク活動支援

生活が困窮し満足に食事を食べることができない人がいる一方で、まだ食べられるのに捨てられている食品もあります。原信では原信労働組合とともに、食のセーフティネットを支えるフードバンクがおか様に会員企業として協賛しています。原信労働組合のフードドライブ活動では2021年度は58kgの食料をご提供しました。



原信労働組合のフードドライブ活動

夏休み子どもお弁当配食プロジェクト

新潟県フードバンク連絡協議会様は夏休みにひとり親家族(小・中学生)を対象にお弁当を配食する企画を実施しました。原信とナルスでは、お弁当の供給企業として希望者が各店舗でお弁当を受け取れるよう協力しました。「お弁当の内容が日々違い楽しかった」や「家事の負担が減り、子供と接する時間に充てられた」などのお声をいただきました。



お渡ししたお弁当の一例

伊勢崎市子ども支援

フレッセイでは地元の生産農家、食品製造会社の応援と伊勢崎市の子供たちの支援を目的として、伊勢崎産の小松菜を使用した商品「いせさき こども餃子 Nana」を販売しました。これは伊勢崎市「農&食」戦略会と地元の餃子・焼売製造会社や食肉加工会社などの連携から誕生した商品です。売り上げの一部を伊勢崎市に寄付いたしました。



伊勢崎市での寄贈式



私たちは、栄養ニーズを満たすための支援をするとともに、子育て支援や高齢者支援を通じ、あらゆる家庭に栄養のある食事のご提供を目指します。

『みんな食堂』のお手伝い

孤食を防ぐ取り組みとして「みんな食堂」の活動が地域で広がっています。原信では店舗で不要となる食材をご提供させていただいています。2021年度は新たに見附店で取り組みを始めました。
(原信 城岡店・宮内店・花園店・美沢店・寺島店・関原店・七日町店・見附店の8店舗で実施)



みんな食堂

食を育む教育支援

原信では「子どもが作る『弁当の日』」や長岡市の「家庭で子どもに手伝いをさせよう運動」の活動を応援しています。活動の一環として、地域の小学校と連携して料理教室や魚の下ごしらえ教室を実施いたしました。

(フレッセイでは2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止)



お弁当作り



三枚おろしにチャレンジ

シニアのお客様へのサービス

65歳以上のお客様へ特典サービスを行っています。

原信は、毎週木曜日と年金支給日にお買上げ金額から5%引きをする「いきいきシルバースデー」、ナルスでは年金支給日に「シニア会員ポイント5倍デー」を開催しています。

フレッセイの群馬県内6店舗では、毎週金曜日に「ぐーちよきシニアパスポート5%引きの日」、栃木県内3店舗では毎週火曜日にお買上げ金額から5%引きをする「いきいきシニアデー」を開催しています。

アクシアル プライベート商品の開発

ご納得いただける味、よりお求めやすい価格でのご提供を目指し、お客様の声を活かした商品企画・開発を進めています。

●アクシアル 4種ミックスナッツ

素材の風味を逃さずに、カリッと香ばしく仕上げました。

●アクシアル Pa!とDELI 冷凍レンジアップ惣菜

下処理が面倒な魚介素材を中心に不足しがちな野菜を加えたメニューを揃えました。





「おいしいわけ」の商品開発

「おいしく」仕入れ、「おいしく」作り、「おいしく」伝える、当社が独自に開発し、自信を持ってお客様にお奨めする商品です。

「おいしさ」を究めたその商品には、「おいしいわけ」があります。



2021年度商品回収事例

お客様に多大なご迷惑をお掛けしたことを心より深くお詫び申し上げます。このような事態が発生することがないよう、品質・表示管理を徹底してまいります。

- ・「サクぷり海老カツ」アレルギー等の表示誤り（原信近江店）
- ・「ピアソーセージ」消費期限の表示誤り（原信近江店）
- ・「オーストラリア産サーロイン」の消費期限切れ（フレッセイ新保店）
- ・「粗びきポークフランクノンスモーク」消費期限切れ（フレッセイ宝泉店、フレッセイ駒形店、フレッセイ南大類店）
- ・「ふっくらおにぎり極醸塩銀鮭」アレルギー等の表示誤り（フレッセイ安塚店）
- ・「極醸塩銀鮭のお弁当」アレルギー等の表示誤り（フレッセイ吉岡店）



私たちは、お客様に対し健康ニーズに沿った食の提案を続けると同時に、従業員に対しては、健康をサポートしながら健全な労働環境を整えることを目指します。

健康ニーズに対応した商品開発



「惣菜・べんとうグランプリ2022」会社表彰受賞

原信ナルスオペレーションサービスは日本食糧新聞社様が主催する「惣菜・べんとうグランプリ2022」において、第1回の会社表彰を受賞しました。

地元食文化の尊重やおいしさと健康に配慮した商品開発などが評価されました。



会社表彰 表彰式



健康経営方針の制定

原信とナルスでは従業員が健康であってこそ、地域のお客様の健康な食生活を支えることができるとの考えのもと、健康経営方針を制定しました。地域のお客様への健康貢献、自発的な行動を重視したからだの健康づくり、メンタルヘルスケアを重視したところの健康づくりに取り組むと宣言いたしました。

健康経営方針について

<https://www.harashinnarus.jp/company/health/>

健康経営優良企業の認定

原信とナルスでは身体と心の健康づくりの取り組みが評価され、健康経営優良法人2022(大規模法人部門)に認定されました。



「にいがた健康経営推進企業」認定

原信とナルスでは、2019年度より「にいがた健康経営推進企業」に登録し、従業員が健康でいきいきと働くことができるよう取り組みを行っています。

2021年度は、食事や栄養、健康について保健師に相談ができる健康相談ダイヤルを新たに開設しました。



「にいがた健康経営推進企業」登録証

新型コロナワクチンの職域接種

従業員の新型コロナウイルス感染予防のため、アクシアル リテイリンググループでは、7月と8月にそれぞれ1回目と2回目の新型コロナワクチンの職域接種を実施しました。長岡市内の特設会場で2,082名、フレッセイ本部会場で1,000名がそれぞれ2回のワクチン接種を受けました。



ワクチンの接種

『にいがたケンジュプロジェクト』協賛

原信とナルスでは、BSN新潟放送様が推進している、健康寿命延伸キャンペーン「にいがたケンジュプロジェクト」に協賛しています。食の分野から県民の健康をサポートするオリジナルブランド「だし香る」シリーズのCMや商品の人気ランキングをテレビ番組内で紹介、お得なクーポンがもらえる「だし香るスタンプラリー」を自社アプリで開催しました。



『からだがよろこぶデリ』の販売

原信とナルスでは、新潟県が推進している健康づくり県民運動「健康立県プロモーション事業」の一つのテーマである「食生活」の取り組み「からだよろこぶデリ」を新潟県内店舗で販売しています。2021年10月から新潟県独自の「おいしくてからだよろこぶ」基準を満たしたお弁当2品が新たに「からだよろこぶデリ」のお弁当として登録されています。



販売しているお弁当



私たちは、米百俵の精神を受け継ぎ、社外の皆様と協力しながら、多くの子供たちに学校の枠組みを超えた教育の機会を提供することで、これからの社会づくりの担い手を育むことを目指します。

■輝け!高校生プログラム

毎年開催している国際交流プログラム「原信サマースカラシップ」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったことを受け、長岡市国際交流協会様主催「原信presents 輝け!高校生プログラム～Youが明日のグローバルリスト～」が開催されました。

SDGsを通じて、世界の課題、長岡の課題に向き合い、自分たちにできることは何かを、企業・団体様より話を聞くことを通じて考えていただく機会を提供しました。



中之島チルドセンターの発泡スチロールリサイクル室の見学

■長岡技術科学大学様でのTQM講座

経営システム学の講義にて、TQM講座を開講、60名以上の学生の皆さんから受講いただきました。TQMやQC手法を学んだ後、演習としてパレート図などを作図、図表化してわかる問題点や改善点について解説いたしました。

参加者からは現場で使われている手法が学べて勉強になったとの声が寄せられました。



TQM推進室による講義

■食を育む書籍の寄贈

フレッセイは群馬県の「ぐんま食育応援企業」の一員として食を育む活動に取り組んでいます。これからを担う世代が群馬県の食文化を知り、興味を持つきっかけになればと考えて、群馬県の郷土料理のレシピなどが紹介されている冊子「ぐんまのおかず」を群馬県内すべての小・中学校494校に寄贈しました。



冊子「ぐんまのおかず」

■『米百俵未来塾』への協賛

米百俵未来塾は、次代を担う長岡の子どもたちが、長岡の誇りを胸に、自らの力で未来を切り拓き、創り出すための学びの場です。アクシアル リテイリングでは協賛を通じて、小学生と中学生が学年や学校の垣根を越え、多様な分野について学ぶことを応援しています。

■『長岡社奨学会』運営支援

新潟県の教育振興や県民福祉増進への寄与を事業目的とする公益財団法人長岡社奨学会の運営を支援しています。

学資貸与または給付のほか、地域の文化・教育・スポーツ・国際交流などへの資金援助も行っています。

長岡社奨学会

<https://www.harashinnarus.jp/nagaokasya/>





仕事と家庭のバランスを

私たちは、仕事と家庭が両立できる職場環境を整えるとともに、手間をかけずにバランスのよい食事がとれる即食・時短・簡便な商品の品揃えをさらに充実することで、家事負担を減らすことを目指します。

くるみん認定

ナルスでは2013年に、原信は2017年に子育てサポート企業として、くるみん認定を受けました。仕事と子育てを両立しながら、従業員が働きやすくその能力を十分に発揮できる職場環境を整備するため、取り組んでまいります。



くるみんマーク

『ハッピー・パートナー企業』への登録

新潟県では、仕事と家庭生活が両立できるよう職場環境を整え、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として認定しています。原信とナルスでは男女がともに働きやすいよう、職場環境の整備に取り組んでいます。

『群馬県いきいきGカンパニー認証』取得

群馬県では育児・介護と仕事の両立、職場における女性の活躍推進などに取り組む企業を認証しています。フレッセイではゴールド認証を取得し、すべての従業員がより働きやすい環境づくりを推進しています。

群馬県いきいき
Gカンパニー認証書

簡便・即食商品

調理時間が短縮できる商品ニーズの高まりを受け、あらかじめカットされた野菜、フライパン1つで調理ができる商品、電子レンジで調理ができる商品の取り扱いを拡大しています。



カット野菜



PalっとCOOK



PalっとDELI



ちゃん KANTANシーフード



食材がセットになったキット

育児介護休業制度

原信とナルスでは、従業員向けに「出産・育児休業制度説明会」を開催しています。制度説明の他に、育児休業を経て復帰した社員による体験談発表を行っています。出産時の体験や復帰後の仕事と育児の両立のコツなど、経験者だからこそ話せる内容が毎回好評です。

女性だけでなく男性の育児休業取得への関心が高まっており、2021年度は原信9名、フレッセイ4名の男性が育児休業を取得しました。

従業員の声

安心の子育て

育児休業取得のきっかけは、初めての子育てに夫婦共々不安があったためです。取得したことで、妻も安心して育児に取り組むことができました。

初めての育児に戸惑いつつも多くの貴重な時間を過ごせ、子供が着実に成長してく姿を実感できました。



原信 城岡店 青果部門 チーフ
長谷川 光司

夫婦で役割分担

第3子出産による妻の負担軽減のため育児休業を取得しました。まだまだ男性が育児休業を取ることは少ないですが、周りの方の協力を得て取ることができました。

コロナ禍での育児はかなり大変でした。休業中は第1・2子の面倒を見ることで、妻の負担を少しでも軽減できたことが良かったです。



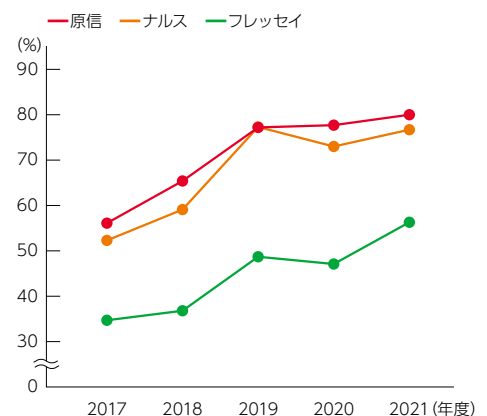
フレッセイ 大泉店 農産部門 チーフ
福島 陽介

有給休暇の取得しやすい環境整備

原信とナルスでは、2018年10月より「半日有給休暇制度」を導入しました。個人の状況にあわせて有給休暇を1日・半日を選択できることで、さらに取得がしやすくなりました。

定例会議の開催頻度の見直し、人員不足時の店舗への応援体制構築など有給休暇の取得しやすい環境の整備に取り組んでいます。

有給休暇取得率推移(レギュラー社員)





現場改善のしくみ、 地方産品を広める

私たちは、TQM(Total Quality Management:総合的品質管理)を経営の根幹に据え、生産性、働きがいのある職場環境を整え、お客様ご満足の実現と現場の継続的な改善を続けています。

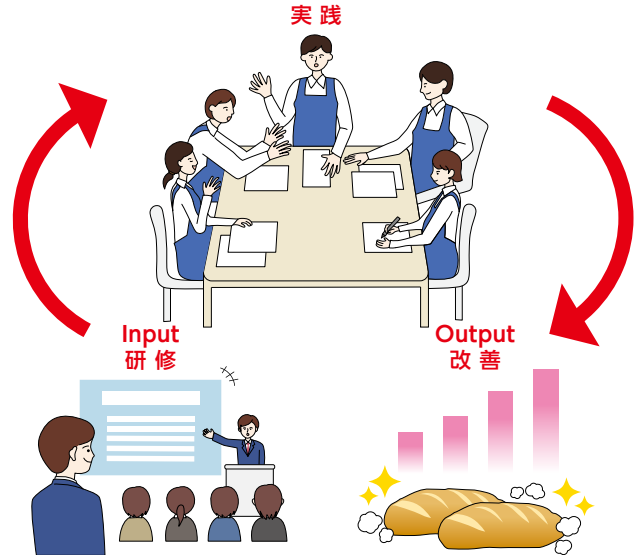
またコロナウイルス感染症拡大により観光業が非常に厳しい状況であることを鑑み、地方産品の販売を通じて雇用の場を提供している観光業のお役に立てるよう取り組んでいます。

■TQM(総合的品質管理)

TQMは経営理念を実現するため、全従業員が一人ひとりの立場に応じてよりよい仕事を継続的に行うための仕組みです。

中期経営計画に基づいた年度方針の達成に向け、「判断の基準はお客様」の行動指針のもとQCサークルやSUM^{サム}*、プロジェクト、委員会で継続的に改善しています。

*Service(サービス) Up(アップ)のためのManagement(マネジメント)の略。アクシアル リテイリング独自の用語。



■成功事例・改善事例

売場づくりを工夫し、成果のあった「成功事例」、作業をより安全に、より効率よく行った「改善事例」は、独自のシステムを用い全店舗に共有しています。共有することで特定の店舗のノウハウではなく、全店に水平展開ができます。

原信とナルスは月に1回、改善事例推進委員会を開催し、全店に水平展開する事例、実験検証する事例を評価、マニュアルの改善などにつなげています。

■地域の文化を守り伝える～小国饅頭～

アクシアル リテイリンググループは事業を通じて地域の文化を守り伝えることも重要であると考えています。

このたび、新潟県長岡市小国地域で50年以上にわたり地元の味として愛され続けてきた「小国饅頭」の製造者である旧山理屋菓子舗様が廃業を決めました。これを大変残念に思い、当社グループのローリーが秘伝とされてきたこの饅頭の製法を店主に仰ぎ、会得して受け継ぎました。お客様からご好評を得ており、今後も販売を拡大してまいります。



小国饅頭

■関連会社の取り組み

ユースエール企業認定

アクシアル リテイリンググループのIT企業であるアイテックが、厚生労働大臣が認定する「ユースエール企業」認定を受けました。若者の採用・育成に積極的で雇用管理の状況などが優良であることが認められました。



認定通知書交付式

■ 広げよう支援の輪 がんばろう!日本。

新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛でお困りになされている産地・市場・業務用卸・観光物産メーカーなどの販路拡大支援として「広げよう支援の輪 がんばろう!日本。」の取り組みを継続しています。飲食店のお弁当や観光地のお土産などを店舗で販売していますが、多くのお客様より販売される商品を楽しみにしているとお声をいただきました。

■ 地酒の力

飲食店の営業自粛が続いてきたことで地元酒蔵の出荷量も減少しています。2020年より取り組んだ「地酒の力」を2021年も実施し、ご家庭で飲食店同様の美味しい地酒を楽しんでいただきました。15の酒蔵との協業により、フレッセイオリジナル地域ラベル瓶を販売。店舗毎に違うラベルの地酒は普段日本酒を購入しない30~40代の世代中心に好評で、約4,000本の販売となりました。



よりお買い物しやすいお店に

住み続けられるまちづくりを

私たちは、地域の食生活を担う企業として、女性、子供、高齢者、障がい者などすべての人々が快適にお買い物ができ、日々の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを提供できるスーパーマーケットを目指します。

■ 共感看板

フレッセイでは、思いやり駐車場に車いすと杖を利用する方の笑顔の写真と「空けてくれてありがとうございます」の感謝の言葉を添えた『共感看板』を設置しています。現在35店舗に設置しています。



共感看板

■ おとしよりぐるりんタクシー

フレッセイでは「おとしよりぐるりんタクシー」に賛同し、石原店の駐車場一角を停留所として登録しました。「おとしよりぐるりんタクシー」は高齢者や障がいをお持ちの方の生活の足の確保を目的とした高崎市の取り組みで、高齢化率の高い地域のルート上はどこでも乗り降り自由、利用料無料、事前予約・利用登録不要の乗合タクシーです。



おとしよりぐるりんタクシー

■ 花火師さんへ贈る、まごころの1円プログラム

新型コロナウイルスの影響で全国の花火大会が中止になり、花火師様の存続が危惧されています。原信とナルスでは、花火師様を支援するため、PB商品1個につき1円を寄付する販売連動型の支援金提供の取り組みを行いました。

多くのお客様よりご賛同いただき、長岡花火財団様を通じて6社、他新潟県内の3社、計9社の花火師様に対し、合計1,200万円の支援金を贈呈いたしました。



支援金贈呈



新潟煙火工業(株)様御礼の色紙



(有)小千谷煙火工業様御礼の色紙



阿部煙火工業(株)様御礼の色紙



お買い物をより便利に楽しく

産業と技術革新の
基盤をつくらう

私たちは、日々進歩する様々な技術を活用し、お客様の利便性と生産性を飛躍的に向上させることを目指します。そしてテクノロジーの活用により「ライフスタイルの変化への対応」と「利便性の向上」を進めます。

原信ナルスアプリ

チラシやオリジナルレシピの閲覧、商品の予約や原信ネットスーパーの利用、お買い得クーポンを簡単な操作で利用できるアプリです。スマートフォンを活用したお客様のお買い物が、より便利で楽しくなる機能や企画の提案、情報発信を行っています。



アプリのダウンロード

◀android & iPhone



個人情報の登録がないので
設定が簡単です。

フレッセイアプリ

お得なクーポン、チラシ情報の閲覧に加え、よくご利用するお店が登録できる「マイフレッセイ」を使った商品情報発信、アンケート・投稿機能、オリジナルキャンペーン企画などを定期的を実施し、お客様とのつながりを深めています。アプリからのネットオーダーの利用が増え、商品によってはWEBからの予約が半数を超えています。



アプリのダウンロード

◀android iPhone▶



ネットで予約

原信ナルスアプリやパソコンからお寿司、クリスマスケーキ、恵方巻などのご予約や産地直送ギフトの発送、全国銘品のお取り寄せなどが簡単にできます。

ご予約商品は商品お渡し時にネット予約限定特典を贈呈しています。ギフトは夏と冬の期間限定の商品に加え、1年間を通してご利用できる発送・お取り寄せ商品を増やしています。



原信ネットスーパー

原信ナルスアプリやパソコンから原信店舗の商品をお買い物できるサービスです。ご注文の商品は新潟県内全域(離島を除く)へお届けします。

当日ご注文・当日配達「スタンダード」、豊富な品揃えで大容量商品も充実しており前日ご注文・翌日配達「プロ」を、自由に切り替えてご利用いただけます。



原信ネットスーパー

<https://harashin-net.axial-r.com>



午前10時までに注文

※新潟市内は13時まで受付。
※原信ネットスーパーPROは前日11時までのご注文で翌日配達。



原信店舗で担当者が商品をご準備



その日のうちにお届け

電子決済の導入

アクシアル リテイリングでは、PayPay決済に対応しております。2021年からは、より便利にご利用いただくために決済会社を追加し、原信とナルスではd払いが、フレッセイではこの他にメルペイ、auPAYもご利用できるようになりました。



AI型自動発注

商品の発注作業の負担軽減と日々の在庫量適正化による商品の品切れ、廃棄ロス削減を目的とし日配品の一部へAI型自動発注を拡大しています。

導入により、発注時間を約6割削減することができました。その後、生鮮食品の一部分類へも導入しています。



ダイバーシティの推進

私たちは、多様な価値観を有する幅広い人材を確保し、その能力を最大限発揮してもらうことで、イノベーションを創出し、価値創造につなげるダイバーシティ(従業員の多様性)を推進しています。

女性活躍

従業員の7割以上が女性であるため、作業環境や機器を整えることで、性別の違いにより「できる」「できない」仕事がないように配慮しています。女性ならではの気づきは商品の販売や売場づくりで大きな強みです。

従業員の声

経験をあらたな価値の創造へ

入社後惣菜部門に配属となり、部門チーフ、トレーナー、バイヤー、チーフバイヤーを経験、現在は次世代商品の開発を担っています。管理職になってからは、メンバー全員がお客様に、よりおいしい商品をお届けする事に集中できるよう心掛けてきました。お客様からいただく売場での反応が仕事のやりがいです。

原信ナルスオペレーションサービス株式会社
商品本部生鮮部 次長 次世代商品開発担当

田辺 聡子



より笑顔あふれるお店に

チェッカー部門からトレーナー、SV*、副店長、原信への出向を経験して、店長に着任いたしました。従業員の皆さんが話しかけやすい態度を常に心掛け、一人ひとりとの会話を大切にしています。皆さんと話し合いながら、お客様がお買い物しやすいお店づくりに励んでいます。

フレッセイ 板倉店 店長
肥後 絵里



※SV：スーパーバイザーの略。店長や部門責任者などに対し、業務進捗状況の確認やアドバイスをする役職。

外国籍社員の活躍

従業員の採用にあたり、国籍や出身地、性別に関係なく、その人の持っている能力や人柄で採否を決定し、人材の多様性につなげています。現在グループ全体で16名の外国籍社員がレギュラー社員として活躍しています。

従業員の声

母国との架け橋に

子供の頃より日本に興味があったため、母国の大学の日本語学科に進学し、日本語や日本の文化に対する理解を深めてきました。仕事においても日本と関わりたいと思い、日本での就職も見据えて、2016年に新潟県へ留学生として来ました。

入社のきっかけはコロナの影響もありましたが、私の夢である「モンゴルと日本をつなぐ」ことに実現の可能性を感じ、入社を決めました。モンゴルと日本の架け橋となれるように協力していこうと思います。

原信 新保店 青果部門 イデル ウランビレグ



シニアの活躍

原信とナルスでは、嘱託社員、パートナー社員の定年後再雇用の限度年齢を70歳に引き上げ、健康で働き続けられるように環境を整えています。また、アルバイトの再雇用限度年齢を75歳とし、働く意欲のある方が活躍できる場となっています。

■ パートナー社員からレギュラー社員に

年1回行われる契約区分変更試験を受験し合格することで、レギュラー社員へ区分変更する制度があります。

従業員の声

レギュラー社員として更なるチャレンジ

沢山の方に支えていただいて、3年前にアシスタントチーフを拝命、昨年、部門の責任者になった事がきっかけで、レギュラー社員への転換を考えるようになりました。

学生の頃、保育士を志して短大へ進みましたが、挫折し中退してしまった事も、レギュラー社員転換へチャレンジする気持ちを後押ししました。



原信 上田緑が丘店 FES部門 チーフ 奥しのぶ

■ アシスタントチーフ制度

アシスタントチーフは、パートナー社員の中から店舗の必要性に応じて会社から任用されている1日6時間勤務のチーフです。

従業員の声

更なるレベルアップを目指して

入社して8年が経ち、仕事に対する興味が尽きることなく勤務していましたが、更にレベルアップしたいと考え、アシスタントチーフを目指しました。

今後も習得した技術や知識を他のメンバーへ伝えていくとともに、よりお買い物しやすいお店づくりを行ってまいります。



原信 七日町店 デイリー部門 アシスタントチーフ 小林 杏奈

周囲の期待をを原動力に

箕郷店にアルバイトとして入社後15年が立ち、先輩方や社員の方の推薦を受けて、アシスタントチーフになりました。

今までやってきたことが認められた喜びもありますが、満足することなくもう一度見直し、周囲の期待をしっかりと受け止めていきます。

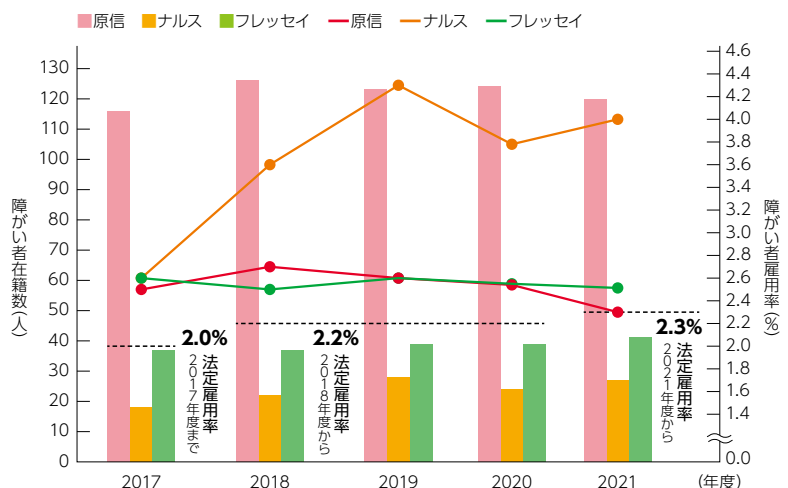


フレッセイ 箕郷店 水産部門 アシスタントチーフ 片貝 亜紀子

■ 障がい者雇用

アクシアル リテイリングでは、就業を通じて社会参加することで自立した生活を送ることができるように、就業・生活支援センター様と連携しながら、安心して長く働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。高等支援学校様との実習や長期的な育成支援を通じて、入社につながった方も多くいます。障がい者雇用率は全事業会社において法定雇用率を満たしています。

障がい者在籍者数と雇用率の推移





エネルギーを効率的に、 クリーンに

私たちは、物流をはじめとしたエネルギーのムダをなくし、石油だけでなく、新たなエネルギーへの転換をすすめます。

物流の効率化

新潟県と群馬県にセンターを配置し物流を効率化することで、環境に配慮するとともに、お客様に安定的に、よりお求めやすい価格で商品をご提供することに努めています。

またプロセスセンターでは店舗の生鮮商品の製造を集約することで、製造プロセスの効率化を進めています。

店舗に商品を配送したトラックが、その店舗近隣のお取引先様の工場に向かい、お取引先様の商品を積み込み当社チルドセンターに戻る取り組みを推進することで、物流網全体での燃料削減にも努めています。2021年度は燃料の削減量が地球約50周分の走行距離になりました。



※DC：ディストリビューションセンターの略。主に加工食品など常温保管できる商品の在庫型物流センター

宅配便ロッカー

アクシアル リテイリングの一部店舗店頭にて宅配便ロッカーを設置しています。受け取り先として宅配便ロッカーを指定いただくことで、再配達や配達ドライバー不足などの社会的課題の解決に貢献しています。



設置店舗はこちらから

◀原信・ナルス

フレッセイ▶



Amazon Hub



PUDOステーション

太陽光発電導入店舗の拡大

一部店舗の屋根に太陽光発電を設置し、使用電力の一部を自家発電しています。2021年度は長野県内の原信3店舗で運用を開始いたしました。フレッセイでは2020年から設置をはじめており、現在19店舗で運用しています。

今後もよりCO₂排出量削減につながるエネルギー使用への切り替えを進めてまいります。



店舗の屋根に設置した太陽光パネル



気温上昇を抑える

気候変動は、食料の生産、供給にも大きな影響を及ぼすため、小売業にとっては大きなリスクです。私たちは高効率機器の導入や自然エネルギーの活用などを通じて事業活動に伴って排出されるCO₂を削減し、地球温暖化の抑制を目指します。

■グリーン冷媒ショーケース

オゾン層を破壊する気体として特定フロンが規制され、新たな冷媒として代替フロンが普及しました。しかし、代替フロンは高い温室効果を有することから、大気中に放出された場合、地球温暖化に影響を及ぼすといわれています。

アクシアル リテイリングでは、冷媒の漏えいを管理するとともに、ショーケースにもグリーン冷媒を使用したものを導入しています。2021年度は45店舗に拡大しました。

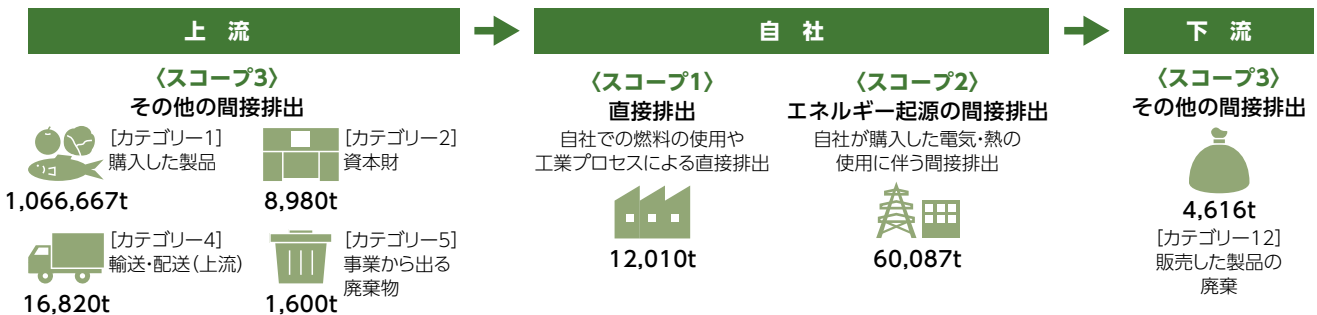


グリーン冷媒ショーケース

■サプライチェーンの排出量

サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減に向け、原信とナルス、フレッセイにおけるスコープ3の算出をいたしました。なお、今期は経営上の指標としての活用を目的に算定範囲を決定、排出量を把握しました。今後は範囲を拡大し、サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減に取り組んでまいります。

● サプライチェーン全体でのCO₂排出量



● 詳細

	分 類	一 例	構成比
スコープ1	直接排出	都市ガス・LPG使用、フロンの漏えい	1.0%
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	電力の使用	5.1%
スコープ3	その他の間接排出		93.9%
	[カテゴリー 1] 購入した製品・サービス	原材料の調達	91.1%
	[カテゴリー 2] 資本財	新店・改装店への投資	0.8%
	[カテゴリー 3] スコープ1, 2に含まれない燃料及びエネルギー活動	今回は算出しておりません	-
	[カテゴリー 4] 輸送、配送(上流)	店舗に直納される商品の配送	1.4%
	[カテゴリー 5] 事業から出る廃棄物	廃棄物の処理	0.1%
	[カテゴリー 6] 出張	今回は算出しておりません	-
	[カテゴリー 7] 雇用者の通勤	今回は算出しておりません	-
	[カテゴリー 8] リース資産(上流)	今回は算出しておりません	-
	[カテゴリー 9] 輸送、配送(下流)	今回は算出しておりません	-
	[カテゴリー11] 販売した製品の使用	今回は算出しておりません	-
	[カテゴリー12] 販売した製品の廃棄	販売した商品の廃棄	0.4%

※参考資料

- ・「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量の算定方法基本ガイドラインに関する業種別解説(小売業) Ver1.0」日本チェーンストア協会、日本百貨店協会、社団法人日本フランチャイズチェーン協会
- ・「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位について (Ver.3.2)」環境省
- ・「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (Ver.3.2)」環境省

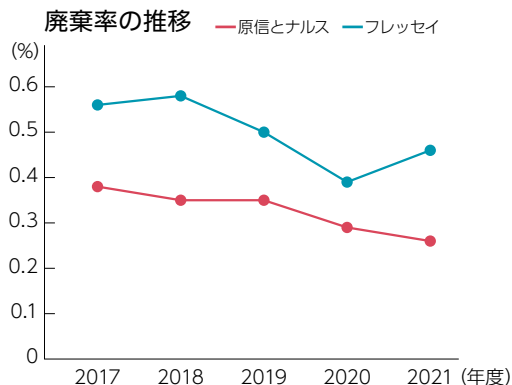


私たちは、データや技術を活用することで、フードサプライチェーン全体での食品ロスの削減を進めていきます。また食品廃棄物のリサイクル率100%達成を目指します。

食品廃棄物の発生抑制

データに基づいた商品製造数・発注数の決定、週半ばでの計画の見直し、研修による商品づくりの技術向上などにより、食品廃棄物をできる限り発生させないように努めています。

また一部の部門にてAI型自動発注を導入したことで、在庫過多による食品ロスの削減ができています。このような取り組みにより、廃棄率(売上金額に対する廃棄商品金額の割合)を改善できるように進めています。



包装材の見直しによる食品ロス削減

プラスチック容器包装材は、食品の品質を守るという大切な役割があります。技術が進み、容器包装材の機能が向上したことで、中身である食品の消費期限を長くすることができるようになりました。

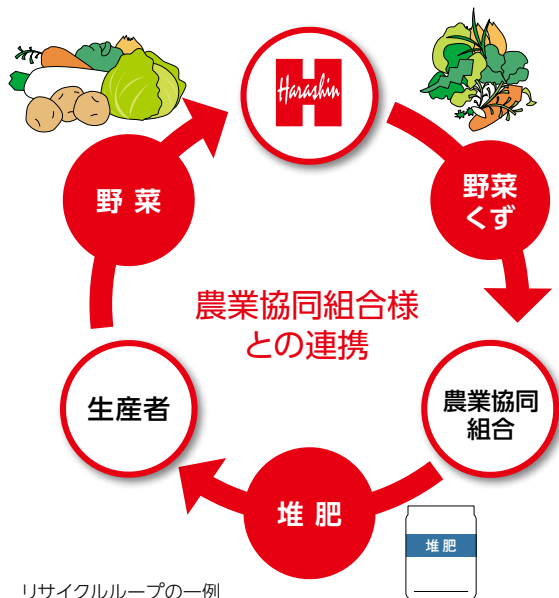
アクシアルPB商品の「ふんわり油揚げ(5枚入り)」は、容器包装材変更に伴い安全性が十分に確認されたため、消費期限を従来よりも6日間長くし、食品ロスの削減につながりました。



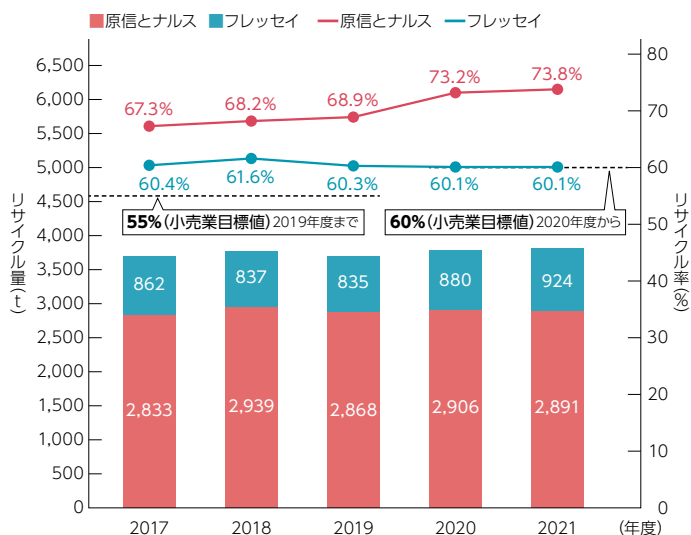
消費期限を延ばした商品

食品廃棄物のリサイクル

食品廃棄物として発生するものの多くは、野菜の外葉や魚のアラなど、販売することに適さない食材です。それらは、各リサイクル業者様の施設で、たい肥や飼料、燃料などの新たな資源に生まれ変わっています。2021年度は新たに5店舗でリサイクルを開始いたしました。その結果、ナルスではリサイクル率が90%を超えました。



食品廃棄物(廃食用油含む)のリサイクル量および率



海洋環境の悪化が、世界的な問題になっています。

私たちはそれらの中でも特に注目されているプラスチック素材の適正利用を目指しています。

■ワンウェイプラスチックの削減

プラスチック資源循環促進法施行に伴い、2022年4月より商品を召し上がる時にご利用いただくプラスチック製スプーンを有料にさせていただきました。これはライフスタイルを見直し、プラスチックの使い過ぎを抑制することが目的です。さらにバイオマスプラスチックを含んだ素材にすることで、よりプラスチック資源の削減に努めています。



バイオマスプラスチックを
40%含んだスプーン(大)

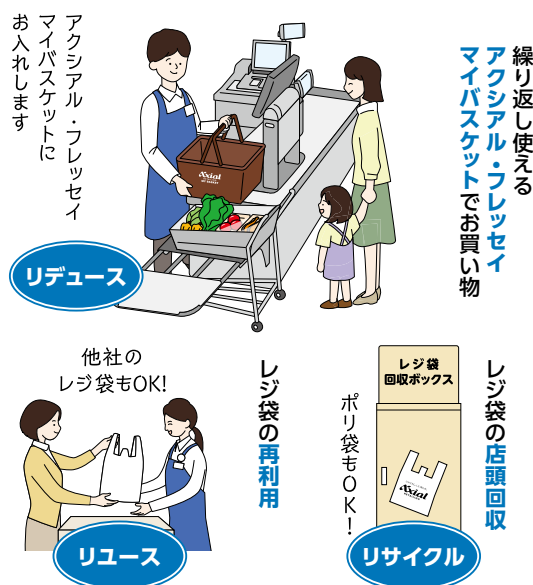
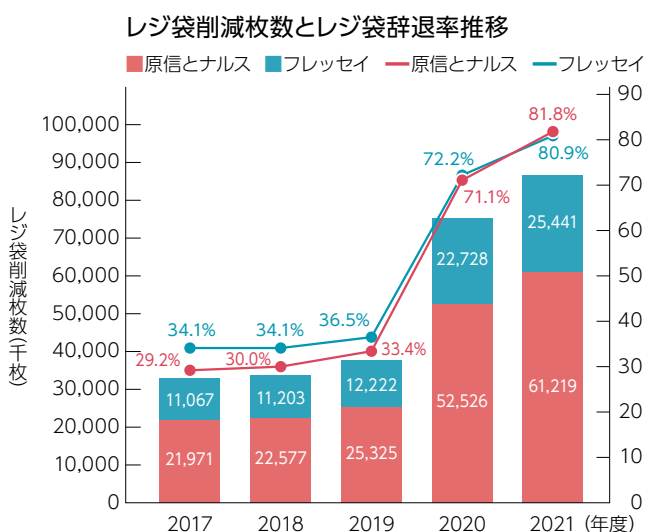
■レジ袋の3R

アクシアル マイバスケッ、フレッセイ マイバスケッなどのご利用による「リデュース!レジ袋」。一度お使いいただいたレジ袋をもう一度お使いいただく「リユース!レジ袋」。不要になったレジ袋やポリ袋を店頭で回収しリサイクルをする「リサイクル!レジ袋」を通じてレジ袋の削減に努めています。

リサイクルしたレジ袋は、原信やナルスの環境活動を紹介した「環境ボード」などに生まれ変わっています。



環境ボード



■『スカスカ撲滅商品』の販売

「スカスカ撲滅」運動とは、中身に比べて容器包装材の体積が大きい商品について、ムダな容器包装を減らそうという運動です。シジシーグループが一体となって推進しており、アクシアル リテイリングでも容器包装材の見直しを進めています。

2021年度はアクシアルPB商品の「さつま揚げ」[おでん袋]の中着包装をやめ、容器包装材を約740t削減いたしました。

今後も容器包装材の見直しを進め、資源とゴミの削減、さらには配送効率の向上につなげてまいります。





私たちは、豊かな森林資源を次世代に引き継ぐため、適切に管理された森林資源の利用を進めます。

■ 森林資源の保全を考えた商品開発

PB商品の中には、森林資源を利用した商品もあります。多くのお客様よりご使用いただいている「キッチンタオル」「ティッシュペーパー」はFSC認証のパルプを用いています。

FSC認証は、森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民、労働者の権利を守りながら適切に生産された製品を消費者に届けるためのマークです。

また「2倍巻トイレトペーパー」は、飲料の紙パックを製造したときに不要となった端材を活用してつくられており、森林資源の保全だけでなく、廃棄物の有効活用にも役立っています。



キッチンタオル



ティッシュペーパー



2倍巻トイレトペーパー

■ 間伐材を使用した什器

人工林は適切に管理することで森として成長し、CO₂を吸収します。しかしながら管理の際に発生した間伐材が活用されないと、せっかく吸収されたCO₂がまた大気中に放出されてしまいます。

原信の一部店舗の什器には杉の間伐材が使われています。森林資源の有効活用につながるだけでなく、CO₂の削減にも貢献しています。



間伐材を利用した商品陳列台

■ より少ない資源で生産された商品の販売

今後、世界の国々が豊かになるにつれ、肉類の摂取が増えることが予測されています。肉類を生産するためには森林を開拓し、多くの水資源や穀物を使わなければならない、畜産による環境負荷が今後ますます増えることが懸念されています。そのような状況から、プラントベースフードと呼ばれる植物性の食材からできた食品に注目が集まっています。

アクシアル リテイリングにおいても、プラントベースフードが新たな食のトレンドになりつつあることを踏まえ、大豆ミートやそれらを使用した加工品の取り扱いを拡大しています。



ネクストミーツ様の大豆ミート商品
※一部店舗での取り扱いになります。



お弁当コーナーで販売
「美ピンバ丼」



ベーカリーコーナーで販売
「ぶる玉ソイミートバーガー」
※一部店舗での取り扱いになります。



大豆ミートの展開

環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。今年度は、CO₂削減効果が見えるものについてはその数値も算出いたしました。

コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考に作成しました。

環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	2020年度		2021年度		CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂)
		投資額 (千円)	費用額 (千円)	投資額 (千円)	費用額 (千円)	
(1)事業エリア内コスト	—	179,017	513,446	183,137	473,242	—
内訳	(1)-1公害防止コスト	105,502	132,878	133,805	111,425	—
	(1)-2地球環境保全コスト	73,515	94,289	49,332	78,905	92
	(1)-3資源循環コスト	—	286,279	—	282,912	—
(2)上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料など	—	53,402	—	36,383	—
(3)管理活動コスト	ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	13,067	27,421	6,500	29,538	—
(4)研究開発コスト	—	—	—	—	—	—
(5)社会活動コスト	各種組合費など	—	50	—	50	—
(6)環境損傷対応コスト	アスベスト除去費用	—	34,850	—	14,500	—
合計	—	192,084	629,169	189,637	553,713	92

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2020年度	2021年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	190,480	183,497
	ガス使用量(千m ³)	447	357
	重油使用量(kℓ)	34	44
	灯油使用量(kℓ)	237	261
	軽油使用量(kℓ)	3,294	3,339
	水使用量(千m ³)	780	771
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	108,847	94,879
	廃棄物総排出量(t)	23,594	24,442
	廃棄物最終処分量(t)	6,039	5,756
	排水量(千m ³)	780	771
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	8	5
	紙パック回収量(t)	345	342
	発泡トレイ回収量(t)	244	246
	透明容器回収量(t)	499	557
	ペットボトルキャップ回収量(t)	82	88
	ペットボトル回収量(t)	284	295

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2020年度	2021年度
収益	リサイクル品売却益	14,714	38,554
	店頭回収品売却益	5,718	8,501
費用節減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	19,559	21,981
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	217,183	250,101
合計	—	257,174	319,137

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

事業活動と環境影響

インプット

燃料
(石油類)



重油 44kℓ
灯油 261kℓ
軽油 3,339kℓ
(配送車輛、自家発電)

電気



183,497MWh
電力会社から購入し、
使用した電力の総量

紙



18t
本部で使用したコピー
用紙、コンピュータ用紙
の総量

水



770,846m³

ガス



356,584m³

■ 寿司舍利玉の店内製造でプラスチック資材の削減

■ 揚げ物の油は酸化度をチェックして交換 ■ 廃食用油は100%リサイクル

■ フロン類は100%回収し破壊処理

■ バイオマス含有プラスチック容器
包装を使用した水産珍味

■ 調理後の油をビニール
ハウスの暖房燃料とし
栽培したトマト

■ 調理のときにゴミが
でないがなしめじ

■ 車イスの設置

■ 天井照明の蛍光灯と
スポットライトをLED化

■ プラスチック製ストローの廃止

■ 原信ミュージアムの開催
(詳細はP34)

■ レジ袋をリサイクルした環境活動
紹介ボードの掲示(詳細はP28)

■ センサー付きタイマーで無駄な電気の削減

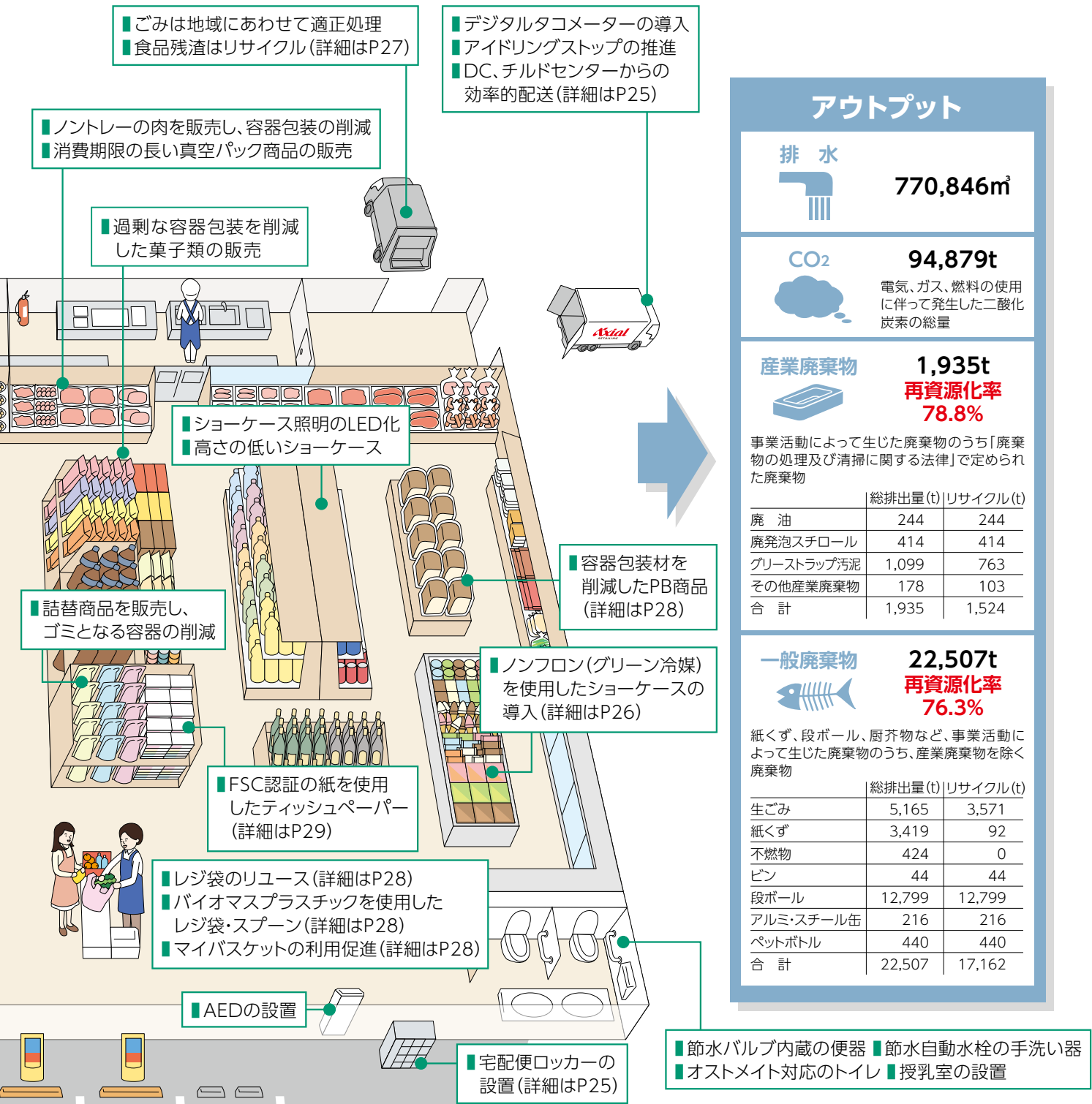
■ 紙パック、発泡トレー、透明容器、レジ袋、ペットボトルキャップの店頭回収
■ 地方自治体からの要請地域ではペットボトルの店頭回収に協力

■ 段差のないバリアフリー対応 ■ 身体障がい者補助犬の同伴入店可能
■ 介助が必要な時のインターフォンの設置

■ 車イス、お子様連れ、妊婦
の方専用の駐車場

■ 共感看板の設置(詳細はP20)

■ 太陽光パネルの設置(詳細はP25)



アウトプット

排水 770,846^m

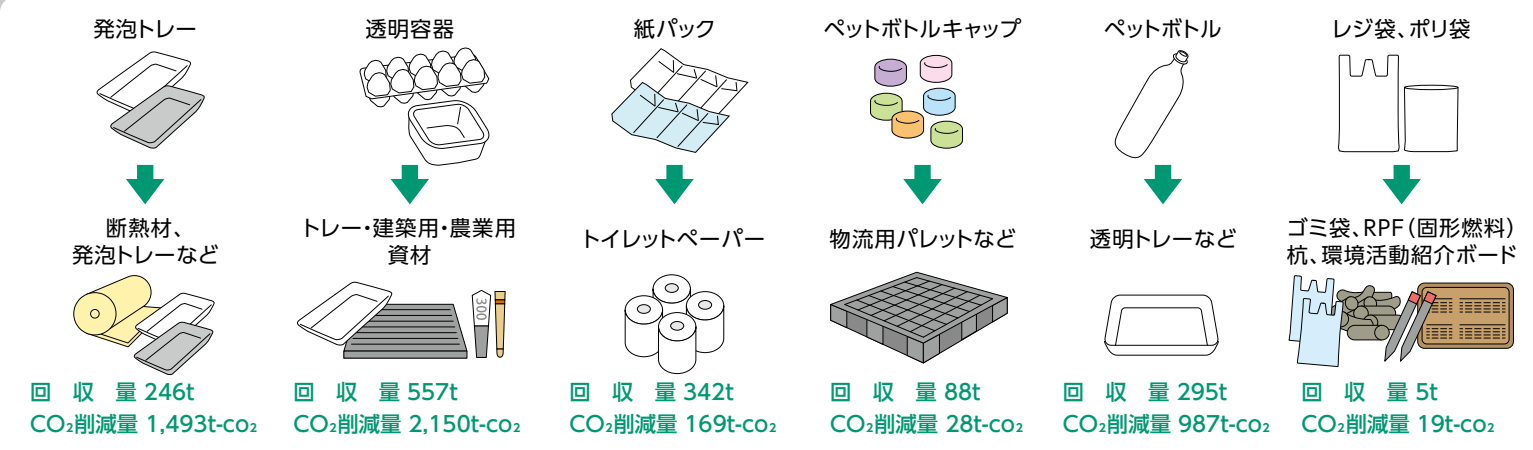
CO₂ 94,879t
電気、ガス、燃料の使用に伴って発生した二酸化炭素の総量

産業廃棄物 1,935t
再資源化率 78.8%
事業活動によって生じた廃棄物のうち「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
廃油	244	244
廃発泡スチロール	414	414
グリーストラップ汚泥	1,099	763
その他産業廃棄物	178	103
合計	1,935	1,524

一般廃棄物 22,507t
再資源化率 76.3%
紙くず、段ボール、厨芥物など、事業活動によって生じた廃棄物のうち、産業廃棄物を除く廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
生ごみ	5,165	3,571
紙くず	3,419	92
不燃物	424	0
ビン	44	44
段ボール	12,799	12,799
アルミ・スチール缶	216	216
ペットボトル	440	440
合計	22,507	17,162





私たちは、社会環境の変化に対応し、法令や社会規範を順守し、社会倫理に沿った企業活動を進めることで、ステークホルダーの皆様からの信頼をさらに高めます。また世界では戦争や迫害などの状況下にある人が多く存在しています。すべての人が、平和な社会のもとで生活できることも目指します。

■コーポレート・ガバナンス

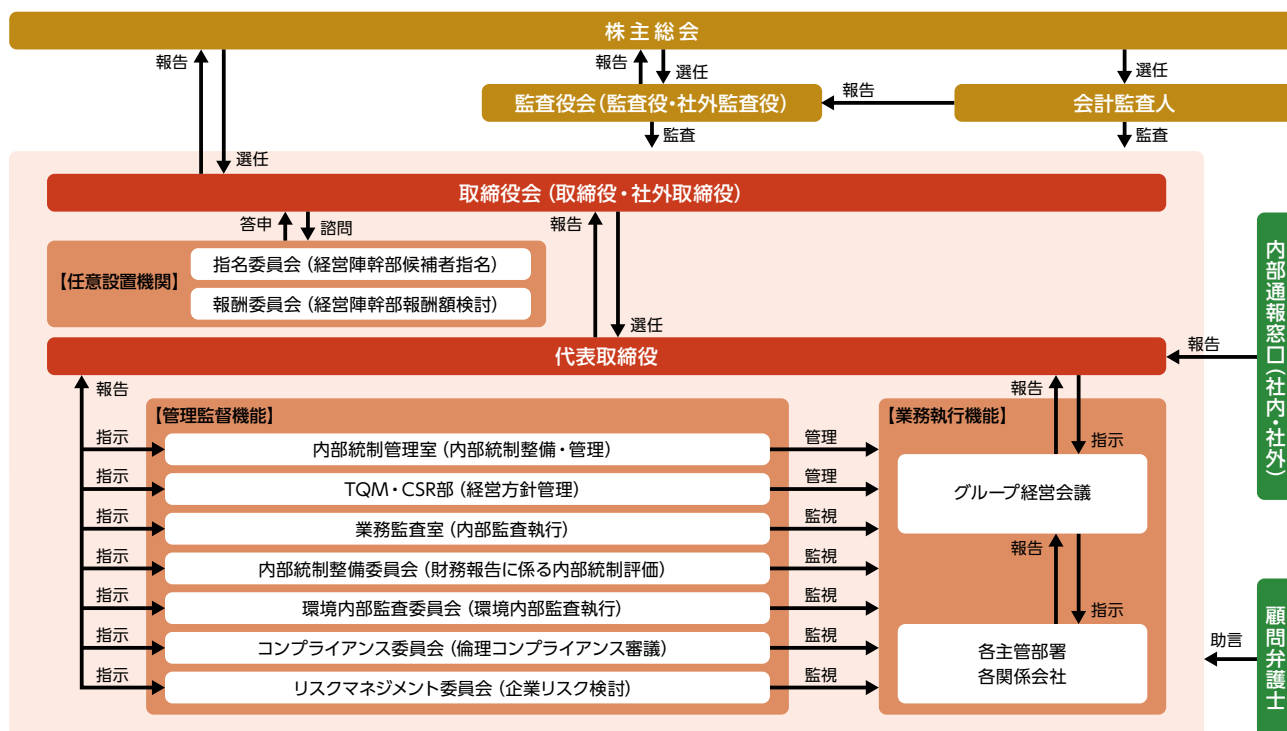
●基本的な考え方

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、意思決定の迅速化と透明性・公平性の確保を図り、責任体制を明確化するとともに、法令や社会的規範の順守及び内部統制システムも含めた企業倫理の整備に努めることです。

●現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要

経営に関する意思決定と業務執行の役割を明確化し、企業集団全体の業務執行体制について、迅速かつ機動的な経営戦略の実現を図るとともに、責任を明確化しコーポレート・ガバナンス体制を強化することを目的として、2007年5月より執行役員制度を導入しています。

コーポレート・ガバナンス体制についての模式図



■地域のお祭り協賛

アクシアル リテイリングは、出店エリアのお祭りに協賛しています。

日本三大花火大会の一つである『長岡まつり大花火大会』では、「平和」「慰霊」「復興」の願いを込め、正三尺玉三連発を打ち上げ、大会を代表するプログラムとなっています。

(2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止)



正三尺玉

■ウクライナ難民支援金募金寄付

ウクライナ難民を支援するため、募金活動を実施しました。集まった約537万円及びアクシアル リテイリングからの寄付1,000万円をそれぞれ国連UNHCR協会を通じて、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)へ寄付いたしました。



みんなでゴールを目指そう

SDGsの達成には、お客様や地域の皆様、地方自治体、企業、NPO・NGOなど様々なステークホルダーとの連携が欠かせません。私たちは、社会課題解決に向け、これらの皆様との連携協力を構築しながら達成に向けて取り組みを進めます。

■自宅療養者向け配送事業協力

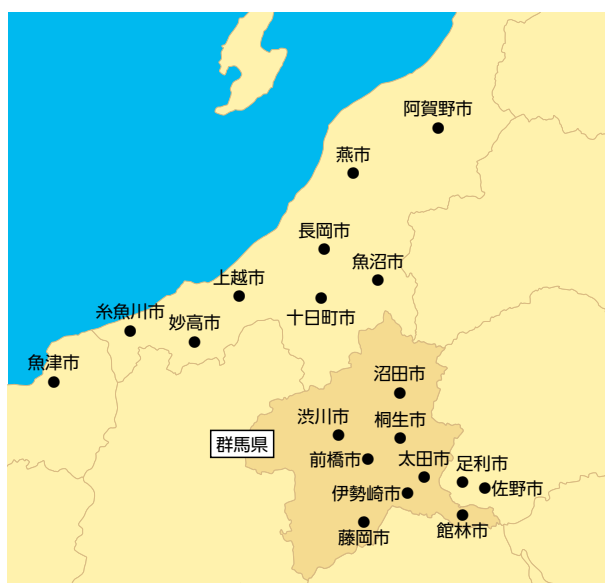
新潟県からの要請を受け、新型コロナウイルスに感染し、自宅で療養する方に食料品などを配送する事業に協力しました。物資は県の栄養士が選んだ米やレトルトのおかずなど1週間分で、2021年度は6,346セットが原信ナルス中之島DCより出荷されました。

■災害協定

フレッセイは新たに群馬県藤岡市、太田市、館林市、栃木県足利市と「災害時における物資供給に関する協定」を締結し、自治体との災害協定締結数は12となりました。原信とナルスでは、新潟県と富山県内の9市と災害協定を締結しています。



館林市との災害協定締結式



災害協定締結の県・市

■備災

災害時に最低限必要な備蓄商品や常備用品の提案と、日常生活の中で消費しながら買い足すサイクルの提案を行っています。



備災商品

■地方自治体への寄付

原信は新潟県南魚沼市の地方創生道整備推進事業の道路整備事業に賛同し、100万円を寄付いたしました。

■原信ミュージアム

原信では「まちごと美術館 cotocoto」様と協働し、障がいがある人のアート作品をカフェコーナーで展示する「原信ミュージアム」を開催しています。（新潟市・長岡市・柏崎市・新発田市・南魚沼市・燕市に計11店舗）



原信 吉田店



アクシアル リテイリング株式会社

新潟県長岡市中興野18番地2 〒954-0193
Tel.(0258)66-6711 Fax.(0258)66-6727
<https://www.axial-r.com/>

[対象期間]2021年度(2021年4月~2022年3月)※ [対象範囲]アクシアル リテイリンググループ企業 [発行日]2022年6月
[参考ガイドライン]GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード2016、環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
[お問い合わせ先]原信ナルスオペレーションサービス株式会社 TQMCSR部 環境CSR室
[TEL]0258-66-8650 [FAX]0258-66-8663 [URL]<https://www.axial-r.com/contact/>

※一部に対象年度以外のものを含む場合があります。



植物油インキマークは植物油
を使用した印刷インキに表示
できるマークです。